

令和元年度

戦略的国際脳科学研究推進プログラム(一次公募) Q&A

令和元年6月4日版
令和元年6月10日版
(4-5ページ目追加)

<研究費配分可能範囲について>

Q：海外の共同研究者に研究経費の配分をすることは可能か。

A：共同研究者が海外の機関に所属する場合は委託研究経費の配分をすることはできません。

Q：研究代表者の給与は、開発費から支弁可能か？

可能である場合、他事業からの支給と合算することは可能か。

A：可能です。エフォート率によって全体を分けてください。

詳しくは事務処理説明書をご確認ください。

<重複応募について>

Q：本事業の1つの研究課題に代表者として応募した場合、他の研究課題に分担者として応募することは可能か？

A：可能です。

Q：複数の研究課題に分担研究者として応募することは可能か。

A：可能です。

Q：AMEDが実施している「脳とこころの健康大国実現プロジェクト」に参加している研究者が本プログラム応募することは可能か？

A：可能です。

「研究開発提案書」の2 研究計画・方法にAMEDの他事業において課題を推進している研究者は、事業名、事業機関と今回の提案内容との相違点を記載する箇所を設けておりますので、ご記載ください。

<研究開発提案書に関する事項について>

Q：「研究提案書様式」の「5 これまでに受けた研究費とその成果等」の説明にある「当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて」と記載の「当該資金制度」とは、何を指すのか。

A：「AMEDの研究費」のことを意味します。

<その他>

Q：申請内容について事前にご相談する事は可能でしょうか。

A：対応しておりません。

<公募研究開発課題に関する事項について>

Q：「治療的介入」に関して、応募しようと考えている治療法が既存の治療範囲内かどうか明確でない場合、応募することは可能でしょうか？

A： 応募は可能です。その治療法を提案書に記載してください。

Q：「ITを専門とする研究者」の基準はありますか？

A： 基準はありません。脳画像、臨床データを解析することができる研究者の参画が必要です。

<公募研究開発課題に関する事項について>

Q： 本公募で新たに高精度MRI撮像を行う研究開発に求められる内容は何か？

A： 国際脳事業では、欧米の国家的プロジェクト（HCP等）との連携に資する研究開発のために、MRI撮像統一プロトコール等による脳画像や臨床データの取得、大規模データ解析を志向しています。したがって、新たに高精度MRI撮像を行う研究開発においては、原則的に、国際脳で現在取得しているデータと共有できる体制で推進されることが期待されます。国際脳については、下記URLにて紹介していますのでご参考ください。

※ 国際脳HP：<https://brainminds-beyond.jp/ja/>